

あかねだより

2024.新年号

こんなむごいことが、お正月早々あっていいものか！
今回の石川県の地震は元旦早々の出来事で、帰省されていた方が被災されて楽しいはずの帰省が悲劇になるなんて・・・どうしようもない憤りを感じています。被災されました皆様、関係者の皆様お悔やみ申し上げます。
ここ数年の各地で起きる自然災害は、この古賀市で事業をしている私たちにとっても、脅威です。

どこで災害が起こってもおかしくない時代に入りました。福岡は災害が少ないとか、古賀は地震に遭ったことがないから大丈夫。と以前言われたことがありましたが、本当に、心から「いつ、わが身に自然災害が降りかかるか分からない。そういう時代だと自覚したくなくとも自覚しなきゃいけない時代」に突入しました。災害時の対策を考えて行こうと思います。

さて、今年は辰年ですね。辰年は陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく成長し、形がととのう年だといわれています。また、たつ（竜、龍）は十二支の中で唯一空想上の生き物で、権力や隆盛の象徴であることから、出世や権力に大きく関わる年といわれています。（インターネットより引用）

去年は事業所がコロナ感染で、クラスターを発生させてしまったり、スタッフの病気やケガなど、悪戦苦闘の一年でしたので、今年は、龍のごとく大きく羽ばたけるように、スタッフ一丸となり、「チームあかね」で充実した一年にしていります。

「あかねだより」も、ホームページに載ることとなり、大勢の介護をされている方や当事者の方々の目にも止まることとなりました。（介護は（老いるということは）苦しいばかりじゃないよ。楽しいこともあるよ。）と誰もが発想を転換して行けるような記事を書いていきたいと思っています。

さあ、今年の幕開けです。被災された方々やその関係者の方々にも「春」がやって来きて前を向いて歩けるように、少しでもいいからみんなでお手伝いしていきましょう。

ここで、あかねの男性スタッフが高速道路のサービスエリアで体験した話を紹介します。

サービスエリアと言えば、トイレタイムに訪れる方も多いかと思います。男性スタッフもトイレタイムで、トイレを使用していると、隣に若い男性がすーっと現れて、スタッフの3分の1の速さで用を終わらせ、男性スタッフが用が終わらない間にまた、すーっといなくなったそうです。後ろを振り返るとその男性は手を洗っていたそうです。

(昔は私も、排尿するのは早かった。あっという間に終わっていた。そして切れも良かった。今は、いつまでもちよろちよろと……。ああ勢いがないなあとじっと下を見つめて……。これが年をとるということなんだ……。) とつくづく思ったそうです。

去年の「年をとるということ」の言葉が頭をよぎった出来事でした。

男性スタッフのつたない経験が「一燈照隅のたね」になれば幸いです

注：男性スタッフの経験の処は男性スタッフ自らの申し出の通り記載いたしました。決して私の興味本位の話しではありません。(でも、笑ってしまったことと、記事にしようと提案したのは……。私です。)